

ケネディクス商業リート投資法人に対する 「グリーンローン」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、ケネディクス商業リート投資法人（執行役員：渡辺 萌、以下「当投資法人」）との間で、ブルメール舞多間（以下、「本物件」）の取得に伴う借入金の返済を資金用途とした個別貸付契約（グリーンローン）を締結いたしました。

グリーンローンとは、「グリーンローン原則」（※1）に準拠し、環境課題の解決・緩和に資する事業の資金を調達するために実行されるローンです。当投資法人は 2020 年にグリーンファイナンスフレームワークを策定し、株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンローン原則への準拠について最上位の「Green 1（F）」（※2）の総合評価を取得しています。

当投資法人は「生活密着型商業施設」に重点投資を行う日本初のリートとして、2015 年 2 月 10 日に東京証券取引所不動産投資信託市場に上場しました。その後継続的かつ着実に資産を積み上げ、7 年間で 2,500 億円を超える安定したポートフォリオを構築しています。

当投資法人は、上場以来、投資対象である「生活密着型商業施設」「消費地配送型物流施設」の運営を通じて ESG（Environment：環境、Social：社会、Governance：ガバナンス）活動に積極的に取り組んでいます。同様に、資産の運用を委託するケネディクス不動産投資顧問株式会社では、ESG への取り組みを重要な経営課題の一つと位置付けて「サステナビリティ方針」や「環境方針」を制定し、環境負荷の低減やステークホルダーとの連携・協働など、持続可能な社会の実現を目指したサステナビリティの向上に努めています。また、当投資法人は、今後も適切な商業施設マネジメントを通じて、地域コミュニティの活性化をはじめ、環境・社会に配慮した取り組みを進めていきます。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、ファイナンスやコンサルティング機能を通じて、お客さまの企業価値向上や SDGs 達成に貢献していくとともに、多様なソリューションの開発・提供に積極的に取り組んでいきます。

<個別貸付契約の概要>

借 入 人：ケネディクス商業リート投資法人

貸 付 人：株式会社みずほ銀行

貸 付 金 額：6 億円

契約締結日：2022 年 8 月 29 日

実 行 日：2022 年 8 月 31 日

<本物件概要>

施設名称：ブルメール舞多間

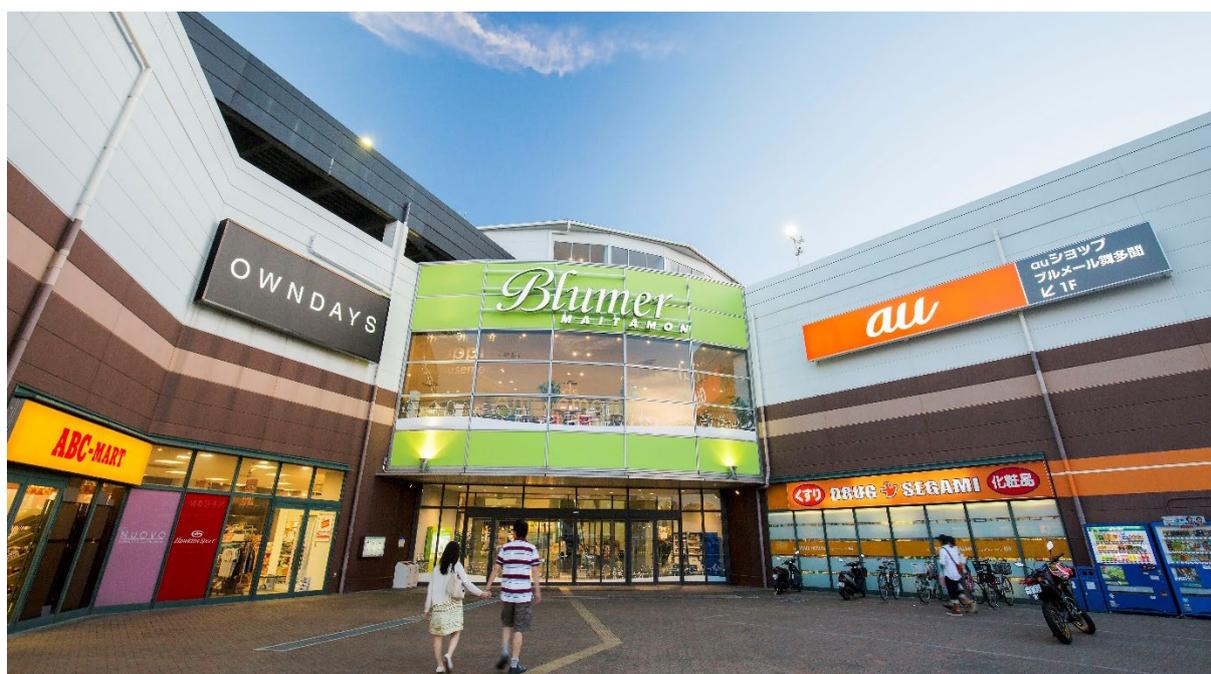
所 在 地：兵庫県神戸市垂水区舞多間東二丁目 1 番 45 号

主要用途：商業施設

敷地面積：54,838.70 m²

延床面積：36,349.60 m²

環境認証：CASBEE（※3）不動産評価認証 「S ランク」（2022 年 3 月 25 日認証取得）



※1：グリーンローン原則：

Loan Market Association とアジア太平洋地域業界団体 Asia Pacific Loan Market Association が 2018 年 3 月に策定した環境分野に用途を限定する融資の国際ガイドライン。2018 年 12 月には The Loan Syndications and Trading Association も参画。

※2：JCR グリーンファイナンス評価手法

(https://www.jcr.co.jp/pdf/greenfinance/Green_Finance_Evaluation_jp_20210917)

.pdf)

※3 : CASBEE (Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency)

国土交通省が主導して開発された建築物の環境性能評価システムで、建築物それ自体の環境品質・性能に関する評価と、建築物の外部に対する環境負荷に関する評価の両面から総合的な環境性能の評価を行う制度。CASBEE 不動産評価認証は、竣工後 1 年以上経過した建築物を対象に、「S ランク」「A ランク」「B+ランク」「B ランク」の 4 段階で評価。

以上